



菜の花

令和5年度 学校教育目標
~よりよくかかわり よさを発揮できる子

令和5年5月8日(月)
第2号 文責 鈴木

校歌の風景



♪「若葉もえたつ 江間の山 山のこずえに 風そよぎ」

新緑が美しい、さわやかな初夏の季節となりました。2日の遠足では、守山を背に、狩野の流れを感じながら、ふるさとの豊かな自然と仲間とのふれあいを楽しみました。

また、先日は、参観会・懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。懇談会前のあいさつでもお話したとおり、今年度の学校教育目標を、「よりよくかかわり、よさを発揮できる子」としました。子どもたちが、今をそして未来をよりよく生きるために、人・もの・こととかかわり、すすんで学びに向かう姿勢や、自分のよさを実感し、自己肯定感を育むことで、社会の中で、他者と共生しながら、自分のよさを発揮できる、そんな力を育てていきたいと考えています。

始まって1ヶ月ですが、子どもたちが、よりよくかかわる姿も多く見られています。

集団登校では、新リーダーを先頭に、朝の目を浴びながら、きちんと1列に並んで歩いています。時々後ろを振り返りながら、安全を確認したり、まだ慣れない1年生のペースに合わせて、ゆっくり歩いたり、ほほえましい光景を毎朝目にします。毎年4月に見られる恒例の光景ですが、この仲間を気遣う思いやりは、上級生から下級生に引き継がれ、北小の子どもたちのよさとなっています。



1年生を迎える会では、1年生に早く学校に慣れてもらおうと、各学年が工夫を凝らした出し物を披露しました。学級の仲間と話し合い、何をするのかを決め、準備や練習をしてきました。折り合いをつけたり、役割を自覚しすすんで動いたり、助け合ったりと、主体的に活動する姿が見られました。当日も、企画委員が立派に進行を務め、北小らしい、とてもあたたかな会となりました。

ペア活動では、畑の有効活用として、ペアでヒマワリの種をまきました。上級生が下級生に、まき方を説明したり手伝ってあげたりと、ともに活動する中で、よりよいかかわり方を自然に身につけていくのではないのでしょうか。ペアで育てたヒマワリが、北小の夏の風景を彩ってくれることが楽しみです。



きらりハイク(遠足)

では、さくら公園まで一緒に歩いたり、対抗ゲームで力を合わせたり、班ごと遊びやお弁当を楽しんだり、結成間もない班の仲間と時間を過ごし、かかわりを深めました。学級では、どちらかと言うと控えめな上級生の子も、率先して下級生に声をかけ、まとめようと頑張っていました。また、下級生も上級生の言うことをしっかり聞いて、一緒に遊びを楽しみました。

学級とは違った集団の中でも、自分のよさを出したり、自分の立場を自覚し、役割を果たそうとしたりすることで、よりよくかかわる力を身につけてほしいと思います。北小ならではの縦割り活動の充実を図っていきます。

